

三小タイムズ

令和2年6月25日発行 校長 辻 久恵

手洗い上手

校内巡視をしている時にとっても上手に手洗いをしている子どもに出会いました。このような子どもが、たくさんいます。

みんな立派です。



図工の作品（6年生）

学校が再開し、図工の学習も始まりました。マスクの着用や授業前後の手洗いの徹底、同じ方向（前）を向いた座席配置、共有した机や道具の消毒、教室の換気など、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながら学習に取り組んでいます。

6年生は、「針金アート」が完成しました。ラジオペンチの使い方を学び、針金を曲げたり、ねじったりしながら、思い思いの作品を作っていました。仕上げにビーズやモールをつけたり、マジックで色をぬったり。きらりと輝く作品を見て、ほかの学年の児童も「きれい!」「すごい!」と興味をもってくれています。（図工専科 濱田 直美）



◆6年生の鑑賞カードより◆

友達の作品を見て、いいなと思ったところを書きました。

作品名「おどる人」

今にも動き出しそうな感じが伝わってきました。様々なものをつけていて、より人っぽくできていたのがよかった。

作品名「はりがねフラワー」

花の周りの円が少し波打って、二重になっているところがきれいなのと、色が真ん中のビーズもふくめて赤系で、きれいだと思った。

作品名「ハリガネモンスター」

うでのように見えるところが、モンスターっぽい。色がきれい。箱が黒と黄色にぬられていて、危険な感じがした。

作品名「スキーのリフト」

スキーのそりやリフトを再現していておもしろいなと思った。銀色のふわふわなモールで雪をイメージしていて、かわいかった。

作品名「黄金のトロフィー」

トロフィーの丸いところが、すごく工夫されていた。大きくて迫力があつた。

作品名「ブランコ」

針金を何回も巻いて人がすわれるように作っていて、すごいと思いました。手で持つところにビーズがついていてきれいだなと思いました。